

うどん屋さんになろう！

3歳児 こあらぐみ



友だちとのやりとりも活発になり、様々な活動に意欲的に取り組んでいる子どもたちです。
「もっとやりとりを楽しんでほしい。」「様々な素材に触れる経験をしてほしい。」というねらいのもと、子どもたち主体で活動を進めていきました。

①まずは開店準備！



おままごとでうどんがあったら
って言うたような・・・うどん屋
さんを提案してみよう！
うどんを作るように・・・麺には
太めのヒモと・・・かまぼこやおあ
げさんも言うだろうな。画用紙も
用意しておこう。

保育士：「みんなでうどん屋さんしない？
こんな材料も持ってきたよ！」

「やりたいやりたい！早く作ろう！」
「かまぼこにはこんな模様あったな。
ペンで描いてみるわ！」
「きつねうどんはこんな色やで！」
友だちがしているのを見て、僕も！私も！と
どんどんと作り進めていく子どもたち・・・

Aちゃん：「天ぷらもおいしいもんねえ。
・・・あ、先生、**天かす**がないで！」

保：「天かす！思いつかへんかったわ。
Aちゃんのお家では、
天かすをいれるねんなあ。
やわらかい紙を丸めて作ろうか。」

天かす、かまぼこ、たまご、おあげを作って、
実際に盛り付けて、美味しそう！と、
保育士や友だちと見せ合って楽しんでいました。
時間も来たのでまた明日も続きをしようねと
その日の活動を終えました。

次の日・・・

Bくん：「お家で考えてたんだけどさ～、人参も
入れたらおいしいと思うんだけど・・・」

保：「いいかも！どうやって人参をつくらう・・・」

Bくん：「人参色の画用紙で人参つくったら
いいじゃん！」

Bくんはイメージができてきているみたい。
どんなものができのか見守ってみよう。

Bくん：「できたよ！
葉っぱの色もちょうだい。」
←をイメージして、大きな人参を
作って見せてくれました。

保：「おっきな人参が出来たね。葉っぱもあるけ
ど、うどんに入ってる人参ってどうかな。」

Bくん：「・・・うどんには葉っぱは入れてないね。
うどんに入ってるのは、包丁で小さくし
てるから、ハサミで食べやすいように小
ざくするね！」

じっくり考えて気づけたのがすごい！やりた
いことを形にできるのが嬉しくて、消極的だった
ハサミを、どんどんと切り始めている！
自分で考えてやってみたいという気持ちや経
験はやはり大事！

Cちゃん：「Bくん何作ってるの？」

Bくん：「人参を作ってるんだよ。小さくしたら食
べやすいからいっぱい切ってるね！」

Bくん：「看板がないと、何のお店かわかんない
よ。あとは～これとか、あれとか～・・・」

Bくん、みんなにもすごいって言うてもらえて
嬉しくてどんどんと意見を出している！
そんな姿を見て嬉しいな。実現できるように
一緒にたくさん考えてみよう！



様々な用具や素材を使って・・・

- ・えび天 - チラシで形成し、
お花紙、画用紙で巻く
- ・天かす - お花紙をちぎって丸めて
- ・人参、のり、ネギ - 画用紙や
色紙を切って
- ・かまぼこ、卵 - サインペンで模様描き
- ・油揚げ - 画用紙を丸めてしわをつける

色々なものを作っていくうちに、
「これはこうしたら作れそう！」と、
作り方を工夫、発展させていきました。
経験して培われたからこそ！



ドリンクサーバーも作ったよ！

スズランテープを切り、ペットボトルに
入れて、ジュースの出来上がり！
水、麦茶、オレンジ、いちごジュース等、
飲み物選び放題です！店員さんが入れて
くれたり、セルフサービスになったりし
ていました。味を混ぜるとミックスジュ
ースもできました！

おまけのデザートをつもりが ケーキ屋さんも開店！



その後、ドーナツやポッキーも
作って、なんでもお菓子屋さんにな
りました。

りすぐみさんをご招待！

声のトーンと視線を落として、
優しく優しく関わっていました。
いつもしてもらっているからこ
そ、自然と現れたのでしょね。



何とかしてお客さんに来てもらいたい気持
ちが、鈴につながったのでしょう。
そして楽しそうな様子に本当にお客さんが
たくさん集まってきました。

「混んできたら名前書いてもらった方がい
いかな？」etc...、他にも豊かなアイデア
がたくさん生まれていました。

②うどん屋さん開店！！



「いらっしゃいませ！何にしますか？」



↑手作り帽子を被って、やる気満々！

大きな声で呼び込みをして、
お客さんのご要望通りに盛り付けをしています。
返却後の片づけをしないと、具材がなくなること
に気づいた子どもたちは、物を大切に扱い、
片付けも丁寧に行うようになっていきました。

しばらくやりとりを続けていると・・・



「お箸がないと食べれへんなあ。」
「机にメニューを置いとかないと、
何があるかわからへんなあ。」
「デザートも食べたいなあ。」

実際にやってみることで、必要なもの、やってみ
たいものがどんどんと浮かんできていました。
友だち同士で会話も弾んで、次はこんなのも作りた
いね！と、給食やおやつの時間にも話していました。



作ったりやりとりしたりして
あそびは大盛り上がり！
そんな中・・・

「お箸もありますからね。
持って行ってくださいね。」
「お水は自分で入れてくださいね。
あちらにありますから！」



言葉遣いもお店の人みたいでほほえまし
い。普段からよく見て、聞いているんだ。
友だちのしぐさやセリフに刺激を受けて、
本物のお店屋さんみたいになってきた！

Dくんがお客さんが座る前に、
コップやお箸を机に静かに並べている。



Eちゃん：「お客さんがここから
とっていくねんで！」

お箸はお客さんに取ってもらう
ものだと思って、少し怒っている様子。

保：「自分で取っていくところもあるけど、
いすに座ったら並べてくれるお店もあるよね。
サービス満点でしてくれてるんじゃない？」

「そっかそっか。
そんなお店もあるなあ。」

◎素直に受けとめられたEちゃん素敵！



その後Dくんの保護者の方に伺うと、
家でお箸を並べるお手伝いをしているとのこと。
生活の中で経験しているからこそその行動！
実体験の大切さを感じました。

～ナイスアイデアをご紹介します～

お客さんが
なかなか来ない時・・・

「チリンチリン！
チリンチリン
チリン！！」

★麺用のトングを
振って、楽しそう！

保：「もしがして鈴を
鳴らしてお客さんのことを呼んでる？」

子：「そうやで。ほらお客さんが来た！」



うどん屋さんごっこを通じて、友だちや保育士とや
り取りをする中で、様々なことを考え、形にすること
を楽しみ、やりとりをすすめる子どもたちでした。

友だちの姿やアイデアに刺激を受けて、素直に受
け止めて認め合ったり、順番などを譲り合ったりする
子どもたちの姿には、大きな成長を感じました。

実際に取り組んで気づく、考える、経験する体験があ
るからこそ、子どもたちのやる気もぐんぐんアップし、
意欲的なこと、そして意欲があるからこそ、積極性
も育まれることを改めて学びました。

今後も様々な経験を通して、豊かに力を培っていけ
るように、保育を進めていきたいと思っています。